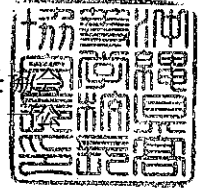


公益社団法人 沖縄県工業連合会

会長 古波津 昇 殿

沖縄県高等学校長
会長 富里



新規高等学校卒業者の雇用について (お願い)

盛夏の候、貴職におかれましては、ますます御隆盛のこととお慶び申し上げます。平素より本県の高等学校教育に対し、深い御理解と格別の御配慮を賜り心から感謝申し上げます。

今春の本県の新規高等学校卒業者の就職内定率は、労働局職業安定課の報告では97.2% (県内96.7%、県外98.4%) で、前年より0.8ポイント(県内0.5ポイント減、県外1.4ポイント減) 低下しています。県内求人数も2,864人と前年同期比で25.28%減少し、新規高等学校卒業者の雇用情勢はコロナ禍の影響もあり、厳しくなっています。また、就職内定率は全国と比較していまだ厳しい状況にあります。

各学校でも、キャリア教育の推進、積極的な進路指導の取り組み、地域やPTAとの連携等に努め、進路決定に向け一層の生徒支援を実施しているところです。

つきましては、御社にはこれまでも深い御理解と御協力を賜っているところではありますが、今後とも下記事項について、御高配くださいますようお願い申し上げます。

記

(1) 採用枠の拡大について

社会情勢の動向によって、求人枠の拡大をさせていただいているところですが、今後とも、本県高校生の育成の意味も含め若者の雇用拡大に努めていただくようお願いいたします。

(2) 採用試験結果の早期通知について

本土企業は、採用試験からおおよそ1週間で可否の通知があり、次の就職活動が円滑に行われます。本県では、一部企業において、可否の通知が遅く、就職活動に支障をきたしております。可能な限り2週間以内を目途に可否の通知をお願いいたします。

(3) 採用計画の早期樹立及び求人票の早期提出について

次代を担う産業人を育て、県経済の自立を促進するためにも、長期的な企業経営のビジョンに基づき、早期に採用計画を立て、可能な限り本土企業と同じ7月中に求人票を提示していただくようお願いいたします。

(4) 障がいのある生徒の雇用促進及び理解啓発について

特別支援学校においては、自立と生徒一人一人のニーズに応じた社会参加を目標に、地域の労働・福祉・医療等関係機関との連携のもとで産業現場等における実習や職場開拓等に関する取組を強化しているところです。就労についての理解啓発をお願いいたします。